

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホーム うたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	令和5年12月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和5年12月21日	外部評価確定日	令和6年1月29日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>田園に囲まれ、近くには小学校や保育園があり環境に恵まれ、散歩時には小学生が声をかけてくれたり、散歩中の園児が立ち寄り一緒に歌ったりしています。また、利用者様に楽しんでいただけるよう外食・買い物・ドライブ(令和3年度はコロナ禍の影響で中止)や季節行事には工夫を凝らしています。ウッドデッキでの外気浴や散歩による気分転換、レクリエーションや生活リハビリによる身体機能の維持にも努めています。晩秋になると佐賀の名物でもあるバルーンが上空まで飛んで来る事があり、利用者様、職員は歓喜して手を振る光景も見られます。ホームの菜園で採れた野菜を美味しく頂かれ喜んでいただきました。ゆっくりとした雰囲気の中で、笑いの絶えないホームです。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>母体が特別養護老人ホームであり、同じ敷地内にデイサービスと居宅支援事業所がある。高齢者への支援については、職員間で情報交換しながら適切に行うことができる専門チームである。法人の理念である3つの愛「敬愛 信愛 友愛」の精神と、「出会い ふれあい 語り合い」の心を謳い、各ユニットの介護理念では具体的な行動が示されている。コロナ禍で創設時より培われてきた地域と施設の関係が断たれていたが、5類になったことで家族の面会の緩和、介護相談員の訪問受け入れ、運営推進会議の開催など再開している。利用者やその家族が当たり前の暮らしが続けられるよう支援したいとの思いは強い。施設の前には小学校と幼稚園がある。また災害時の救援としての地域協力員の存在は大きな強みである。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼時に基本理念と各ユニット内の介護理念の唱和を行い実践している。	毎朝朝礼時に基本理念、各棟の介護理念を唱和し職員の意識付けを図りながら実践に繋げています。	法人の基本理念と各ユニットの具体的な行動が示された介護理念が目につく場所に掲示されている。各ユニットの介護理念は 毎年考案されており、過去1年の振り返りの機会となっている。毎朝、唱和をすることで職員と管理者が理念を共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの流行により規制され、本来の近隣の保育園・小学校との交流はできていない。地区のクリーンデーには職員が参加しています。又、食材については地域のお店を活用し、散髪に関しては感染予防対策を十分に行いながら限定で地域の理髪店より来て頂いています。	新型コロナウイルス5類に移行しても本来、近隣の保育園・小学校との交流を図り、避難訓練では地元消防団や地域協力員の参加を得て合同で行っていますが、現状として交流は出来ていない。地区のクリーンデーには職員が参加しています	自治会に加入しており、地域の細かい情報は回覧板や地域に住む職員から得ている。食材の購入は地元の商店からの配達である。配達時の会話から地域の情報をもらうこともある。また地域協力員となってもらっている人もいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス感染予防の為に交流はできず活かせていない。	新型コロナウイルス感染5類に移行しても感染予防の為、交流は出来ず活かせていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染5類となり、5月より運営推進委員会が再開され、資料を配布し、利用者の状況等について意見交換を行うことができた。	今年度より中止をしていた運営推進委員会を、2ヶ月毎実施し会議では施設の状況・活動報告を行い、委員の方の意見・提案等を職員会議で職員に報告し検討しながらサービスの向上に活かすようにしています。	コロナ禍で紙面配布での、みなし会議となっていたが、新型コロナが5類感染症になったことから感染対策をしたうえで、施設内での会議を開催し、双方からの情報交換が行われるようになった。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	5月より運営推進委員会が再開され、市町村担当者に参加して頂きサービスの提供状況を報告し意見を頂くことができた。介護相談員の訪問もあり利用者の思いを知っていただける機会になりました。	今年度より再開した運営推進委員会に市町村担当者も参加してもらえ様をお願いしています。相談連絡は電話にて行え、コロナワクチン接種等申請時に役場に行き担当者との意見交換を行いました。また介護相談員の訪問も再開し意見交換や利用者方と関わりを持って頂きました。	運営推進会議に参加してもらっている行政担当者、定期的に訪問してもらい介護相談員など相談窓口はたくさんあり、相談内容によってそれぞれの担当者に相談することができる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議で事故、ヒヤリハット報告書で意見交換を行い、話し合いの場を設け、職員間で共有し身体拘束のないケアに努めている。	玄関の施錠をはじめ身体拘束をしないケアに取り組んでいます。身体拘束について資料での勉強会を職員会議でおこない身体拘束の内容やその弊害を理解し努められるように職員へ周知徹底している。	法人全体で行われる委員会には代表者が出席する。学習してきたことを年2回の研修会、月1回の勉強会でスタッフへ伝達され、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や尊守に向けた取り組みを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の中で研修参加者の報告や研修会を通して、職員の意識付けを行いました。	職員会議にて研修参加の職員より資料や報告を通じて周知徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に生活保護受給者の方がおられ、あんしんサポートを利用されており、本人様と関係機関との話し合いを支援しています。	利用者の中に生活保護受給者の方がおられ、あんしんサポートを利用されており、本人様と関係機関との話し合いを支援していますが特に権利擁護に関する制度の学びの機会はなく今後学ぶ機会を設ける必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約や改定時は書面等にて十分説明し理解・納得を得られるように努めています。	契約や改定時は書面をもって説明し理解と納得を得られるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナウイルス感染5類となり、家族様の面会も玄関先で面会出来るようになりました。家族様には面会時、モニタリングを通じて意見、要望を伺いながら、ケース会議で話し合いサービス提供に反映させています。	新型コロナウイルス感染5類となり、家族様の面会も玄関先で行っています。家族様来所時にはモニタリングや近況報告等をご意見やご要望を伺いながらサービスに反映させています。また利用者様の会話をケース会議等で話し合う場を設けています。	家族のアンケートでは多くの家族が「意見や要望をよく聞いてくれる」と回答されている。面会時や電話での対応が柔軟に行われていることが伺える。出された意見や苦情は前向きに捉え、利用者主体の運営を心掛けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼時や職員会議、ケース会議、日常業務においても意見や気付きをその場で出し合い、運営に反映するように努めています。	朝礼時や職員会議、ケース会議、日常業務中においても意見や気付きをその場で出し合い運営に反映するように努めています。	不定期ではあるが、スタッフへ無記名でのアンケート調査を行っている。忌憚のない意見を聞きたいという管理者の思いがある。働きやすい、活気ある職場にしたい思いがある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回自己評価をし、業務内容や業務への姿勢を振り返り、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	今年度より実施される自己評価表にて業務内容や業務への姿勢を振り返り評価している。労働環境については労働規定により随時整備されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として職員の資質向上について事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。	事業所として職員の資質向上は必須であり事業計画に掲げており、施設内外の研修への参加や資格取得の推進を行い特別休暇扱いなどで取りやすい機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルス感染症5類になったが、なかなかグループホームによる地域連携協議会主催の研修会や町内の医療福祉連携研修など参加ができず、交流を通じたサービスの質の向上は未達成でした。	新型コロナウイルス発生後よりグループホームによる地域連携協議会の取り組みも途絶えているのが現状です。また町内の医療福祉連携研修などの参加が出来ず交流を通じたサービスの質の向上は出来ていない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に家族様や担当ケアマネジャー等より基本情報を参考にし本人様との良好な関係を築きながら、要望や不安事を傾聴し不安軽減に努めています。	入居前に担当ケアマネジャーや家族様に聞き取り調査し利用者様本人、困っていること、不安なこと、要望等に出来るだけ添えるような関係作りに努めています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めています。	入居前に施設見学をして頂き、家族様の思いや要望を聞き取り会話をしながら信頼関係が築けるように努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャーや関連する事業所からの情報をベースに本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。	担当ケアマネジャーや以前の事業所からの情報に基づき本人様や家族様の要望に応えられる支援を見つけるように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の出来る部分の発掘をし、日常生活の中で職員と共に取り組む事の機会を作り良好な関係が出来るように努めています。	利用者様の残存機能活かしながら共に生活を営む者として良好な関係性を築くよう心掛けている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	新型コロナウイルス感染5類となり、玄関先での面会は出来るようになりました。外出に関しては病院受診以外は中止している状況である。不穏時どうしても職員で対応出来ない場合は電話による協力をして頂き、本人様と家族様の絆を大事にし共に支え合う関係に努めています。	新型コロナウイルス感染5類となり、玄関先での面会は出来るようになりましたが受診以外での外出は中止しているのが現状です。電話での近況報告や不穏時に家族様の協力を頂き電話対応なども行っています。利用者様を家族様と共に支え合う関係に努めています。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染5類となったが、外出が出来ない状況である。玄関先での面会や電話、プレゼントといった形で馴染みの人との関係の継続を絶たないように支援に努めています。	新型コロナウイルス感染5類となり感染対策を行いながら玄関先での面会や電話、手紙、贈り物といった形で馴染みの人との関係の継続を絶たないように支援に努めています。	敷地内にあるデイサービスの利用者との交流はある。時には近くにあるお地藏さんまで出かけお茶をすることもある。コロナ禍で活躍したのがケーブルテレビ、馴染みの場所や人達が放映されるのをみんなで見ては楽しい時間となっていた。地元の理髪店に出かける利用者も居られるが、孫に施設で切ってもらっている利用者も居られる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めています。	利用者様一人ひとりの過ごされ方を把握し、利用者様同士が良好な関係で過ごせるようにレクリエーションや行事といったものを通じて支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用を終了された方の関わりは特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶する程度で終わっている。	サービス利用が終了された方の関わりは特に相談や支援といった形はなく、近況報告や挨拶をする程度で終わっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の意向に沿うように日々の関わりの中で、さり気ない会話や仕草から把握し、また、困難な場合は家族や職員で検討し利用者様本位の支援に努めています。	利用者様の思いや意向を受け止め、出来るだけ意向に沿えるような支援を行っています。また困難な場合は家族様と職員間で話し合い利用者様本位の支援に努めています。	日々の関りの中で、利用者一人一人の思いを聞く場面は多い。発語の少なくなった利用者とは表情や行動から思いを推し量り、記録に残し共有している。更にケアプランに反映させることもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーや他事業所からの情報把握に努めています。	入居前の情報を家族様からの聞き取りや担当ケアマネジャーからの情報提供を共有し把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりの能力、体調に合わせ無理なく過ごせるようケース会議等で話し合い現状把握に努めています。	利用者様一人ひとりの残存機能、体調に合わせ無理なく過ごせるサービスの提供についてケース会議、モニタリング時に話し合いを行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の状況・状態を常に把握しその人に合ったケアが出来る様に家族様とのモニタリング時の意向等をケース会議に反映させ介護計画の作成に努めています。	利用者様の状態、状況を把握し本人に合ったケアについて家族様に面会時やモニタリング時に意向を伺っている。また職員間でケアを検討し利用者様にとってより良い介護計画の作成に努めています。	介護計画作成者は夜勤業務も行っており、利用者の暮らしを知り尽くしている。入居当初は目標期間を短期間で設定し経過期間としている。計画の同意を得る場では一緒に話し合い、わかりやすく説明されている。プランの実施状況は日々のチェック表に記載され、モニタリングは毎月の会議で行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録等により情報共有を行い実践に努め、気づき、見直し等ある場合は話し合い介護計画の見直しに活かしています。	介護記録等で情報共有に努めながら実践を行い、気づきがあれば話し合い介護計画の見直しに反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、家族様の会話から得た情報や家族様の状態変化へ必要に応じて支援サービスにも、柔軟な対応で取り組んでいます。	利用者様、家族様の状況、状態の変化に応じて必要な支援やサービスの提供に心掛け取り組んでいます。遠方の家族様には定期的に写真を送り、家族様からの電話は随時対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染5類となり、玄関先での面会が出来るようになり、隣のデイサービスに慰問に来られ見学に行かれたり、近隣のお地藏様まで散歩等を支援しています。	新型コロナウイルス感染5類となり、玄関先での面会が出来るようになるも、外出に関しては制限しておりボランティアの受け入れや近隣学校との交流出来ず地域資源との協働も不十分である。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との受診継続の為、家族様付き添いをお願いしていますが、近隣医院には職員が同行し検査結果を家族様へ報告しています。また、利用者様の状況に応じて訪問診療を受けられています。	かかりつけ医との受診継続の為、家族様付き添いで受診されており、近隣医院には訪問診療も受けており、家族様の来所時に検査結果等を報告している。緊急を要する受診は職員が対応する場合もある。	事業所の協力医のほか、利用前からのかかりつけ医での受診が継続できている。家族と主治医の信頼関係から、診療の内容を直接、家族へ伝えてもらえるケースもある。事業所とかかりつけ医との案系を築きながら、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調変化の気づきを相談でき、急変時の助言や医療的支援があります。また、病院看護師との連携を取りながら適切な受診に繋がっています。	利用者様の体調変化の気づきを相談でき、急変時の助言や医療的支援があります。また、病院看護師との連携を取りながら適切な受診に繋がっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の情報交換や入院中の状態把握についてコロナ禍対応の中、病院関係者との情報交換を行い退院後の支援に役立っています。	入退院時の情報交換や入院中の状態把握について病院関係者との情報交換を行い退院後の支援に役立っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に関しては契約時に説明を行い、ホームでの対応困難時は家族様に伝え状態に応じて職員、家族様主治医を交えて話し合いを行いません。	重度化や終末期に関しては契約時に説明を行い、ホームでの対応困難時は家族様に伝え、状態に応じて職員、家族様、主治医を交えて話し合いを行っています。	入居契約時に指針の説明を行っている。事業所ができることとできないことを伝えながら、安心して納得した最期を迎えられるよう支援している。これまでに看取りの経験はないが、今後の課題として時間をかけて慎重に検討したいと考えている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員に対して急変や事故発生時における対応についてマニュアル作成を通して共有するようしており、又、感染予防対策研修会に参加し伝達を行っていますが、定期的な応急手当や初期対応の訓練ができておらず、実践に向けての研修、勉強会が必要である。	急変や事故発生時における対応はマニュアル作成をしているが、定期的な応急手当や初期対応の訓練は出来ておらず、AEDの扱いや実践に向けての研修・勉強会が必要である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行していますが、コロナ禍の影響にて地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練を中止している状況です。また、夜間訓練についても日中に夜間を想定した訓練に留まっています。	災害時に向けてのマニュアル作成、避難訓練計画に挙げて実行していますが、コロナ発生後より地元消防団や消防署、近隣協力員との合同訓練を中止している状況です。また、夜間訓練についても日中に夜間を想定した訓練に留まっている。令和元年の水害では避難さえしなかったが対応すべきことを把握できた。	令和元年の水害では玄関先まで浸水するという怖い経験をした。年2回の訓練は昼間帯に行い、夜間は想定のみである。居室の入り口に掛けた札は裏に返して退避済の合図としている。非常食の備蓄は3日分ある。非常口は玄関を含め3カ所である。避難のための動線を妨げるものは置かれていない。BCP(事業継続計画)策定の期限が迫っているため、管理者は構想中である。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	朝礼時に唱和している基本理念の三愛に基づき人権を尊重し誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めています。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して感情的になることもあり反省する場面も見られる。	朝礼時に唱和している基本理念の三愛に基づき人権を尊重し誇りやプライバシーに配慮した声掛けに努めています。ただ、突発的な危険行為や暴言に対して感情的になるという場面も時折見られます。	利用者と職員が昔なじみの関係であったというケースも多いことから、馴れ合いの関係になりやすい。管理者はそのことを十分理解したうえで高齢者に対する敬意を払う手助けを指導している。それは毎年再考される各ユニットの介護理念にも反映されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との関わりの中で洋服選びや飲み物選択、レクリエーション参加などの自己決定出来る機会を作り本人の意思に添う支援に努めています。	利用者様と一緒に洋服選びや飲み物洗濯、レクリエーションへの参加等の自己決定出来る機会を作り本人の意思に添う支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人その人に合ったペースで支援に心掛けていますが、どうしても集団生活の中で希望に添えない場面もあります。	朝が苦手な方にはその人のペースでゆっくりと遅めの食事の提供をするなど、出来るだけその人に合った支援の提供を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の着替え準備において自分で用意されたり、朝の洗顔時での洗顔フォームを用意し自分で整容される方の手伝いを行い、整髪についても家族様の支援により美容室に行かれる方もおられます。又、訪問散髪を利用され自分の好みにカットされる方もおられます。	毎朝の整容と入浴時には好みの服を選んで頂くなどの支援を提供。定期的な訪問散髪の提供を実施しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時に調理の下ごしらえやつぎ分け等のお手伝いをして頂き、献立の説明や食べやすい食事形態の工夫を行い、又、季節感のあるメニュー作りの為その時節の果物を取り入れ楽しみを持てるようにしています。他、職員も一緒に同席し家庭的な雰囲気づくりを行っています。	職員と一緒に台所に立ち簡単な調理手伝いやつぎ分け等の手伝いをして頂き、また献立の説明、利用者様に応じた食べやすい食事形態での提供を心掛けています。食事は新鮮な食材を使用し、時には利用者様の好みの食事を献立に取り入れてもらい提供しています。	地元の商店から配達される食材を使って職員が調理している。入居者にも皮むきなど手伝ってもらう。献立は入居者の意見も聞きながら作成している。誕生会にはケーキも提供する。お正月に提供されるおせちは施設で作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に合わせて食事量や形態を考慮して提供しています。水分も好みの飲み物で水分補給回数が増えるよう工夫して水分不足にならない様に努めています。	利用者様其々に合わせた食事量や食事形態に工夫をして提供しています。また水分補給の制限のある方、不足している方に対しては個々に応じた提供を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、出来ない方の介助を行っています。特に義歯装着をされる方の義歯洗浄は細目に行い、又、義歯消毒については訪問歯科の先生の助言により毎食後にポリドント使用し実施しています。	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、介助の必要な方には職員が行い義歯使用の方には毎日昼食後に義歯洗浄を実施しています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し排泄パターンを把握し早めの誘導にて汚染回数減に努めています。又、さりげない声掛けにて排泄チェックを行い、必要時には清拭対応しています。	利用者様、一人ひとり排泄パターンを把握し早めの誘導にて汚染回数減に努めています。声掛けにて排泄チェックを行っています。	トイレでの排泄を基本としている。入院により紙おむつが必須となった利用者に対しても、職員の手助けで布パンツに尿取りパット使用となられた入居者もある。尿路感染症予防目的からもこまめな声掛けを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し水分補給や乳製品、繊維質の多い食事の提供、歩行運動、腹部マッサージなど便秘予防に努め、長時間続く場合は主治医への相談を行なっています。	排便チェック表にて排便状況を把握し便秘予防の為、乳製品提供や水分補給を充実しレクリエーションの場での体操を取り入れている。長期間に及ぶ時は医師への相談もしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は基本的には週3回となっておりますが、体調や希望によっては隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応しています。夜間の使用については勤務体制上困難である。又、特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応しています。	入浴日は基本的には週3回となっておりますが、体調や希望によっては隣ユニットでの入浴は可能である。時間帯は午前午後と利用者様に合わせて対応しています。特に順番等決めず本人様の状態・希望に合わせて対応しています。	二つのユニットが交互に入浴日となる。事業所全体でみれば風呂の準備が月から土曜日までできている。無理強いはせず利用者に合わせて支援が行われている。冬至にはゆず湯を楽しんでもらった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整や寝具調整に気を配り安心して休んで頂けるように支援しています。不穩になられる方には傾聴し入眠出来る様に支援しています。	室温調整や寝具調整に配慮し安心して休んで頂けるように支援しています。不穩になられる方にはその都度対応しゆっくり入眠出来る様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情により副作用を把握し症状には注意して医師へ報告しています。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用しています。	薬情により効能、副作用を把握し症状には注意して医師へ報告している。また、職員間での情報共有のため報連相ノートを活用しています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し、洗濯物たたみ、調理の下ごしらえ等行う役割がある事が自信へ繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。本来であればドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ感染予防の為、外出支援が中止となっている。	洗濯物干し畳み、簡単な調理の手伝い等行う役割がある事が自信へ繋がり、職員と一緒に出来る事で気分転換の支援をしている。従来はドライブ・買い物等の外出支援を通して気分転換に繋げるが、コロナ禍以降外出支援が中止となっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症予防対策として外出支援を見合わせており外出出来ず。玄関先やウッドデッキでの外気浴、近隣の散歩を行いました。	新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症予防対策として外出支援は控えている。玄関先やウッドデッキでの外気浴、ホーム周辺の散策は実施した。	天候や職員の配置、地域の感染症の流行などの情報を確認しながらできるだけ外出の機会を作ろうと心掛けている。施設近くにあるお地藏さんに出かけお茶をすることもある。またひまわりやコスモスなどの花や紅葉見学に出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとして家族より担当職員が預かり、日用品の購入や医療費の支払いに当てています。本来希望があれば職員が同行し買い物に行くこともありますが、コロナ感染予防の為、買い物に行くことは現時点では控えている。	お小遣いとして家族様より預かり、日用品や医療費等の支払いを担当職員が行っている。従来は希望の品を職員同行で買い物するなどの支援をしていたがコロナ禍以降は感染予防対策として控えている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者、家族様の要望があれば電話を掛けたりその都度対応しています。	利用者様、家族様の要望に応じて電話のやり取りをその都度対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた作品や飾りを掲示して雰囲気作りに努めています。又、ソファや椅子の配置にも気を配りくつろげる環境づくりをしています。	利用者様と一緒に作成した季節に応じた作品などを掲示している。またホーム内はコロナを含め感染症予防の為、空気の入替え(換気)を行うと同時に空気清浄機設置を行っている。	利用者が多くの時間を過ごす共有空間であることを意識したフロアの飾りつけや家具の配置となっている。利用者の動線上に行動を妨げるものはない。感染対策のための換気や手の触れるところの消毒もこまめに行われている。浴室、トイレともにきれいに掃除され、嫌な臭いはしない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が気の合う方と会話出来るように声掛けや席の移動をお願いしたりしています。	居室やホールを利用者様本位で過ごして頂き、気の合う方との会話が出来るように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の使い慣れた物や家族の写真など持参して頂き飾ったり、自分で作成された作品など置かれ、中には仏壇を持参されている方もおられ、自宅におられるような雰囲気作りに努めています。	入居前に利用者様本人が使い慣れた物の持ち込みをお願いをし、居室内には家族様とのゆかりの物などを飾り自宅で過ごされている様に工夫しています。	使い慣れたものが持ち込まれ、それぞれの利用者の居心地のよさを配慮している。仏壇を持ち込まれている利用者もある。居室にはクローゼットもあり、収納や整理整頓に役立っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口やホールの自席や椅子に名前を分かり易くしています。又、トイレには直ぐに分かるように貼紙をし、使い方なども中の方に掲示しています。	居室の入り口やホールの自席や椅子に名前を分かり易くしています。又、トイレには直ぐに分かるように貼紙をし、使い方なども中の方に掲示しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない